

システム変更等のお知らせ

(2012.7.14 - 2012.9.7 変更)

1. ハードウェア

- 1.1 FX10 スーパーコンピュータシステム (Oakleaf-FX) … なし
- 1.2 HA8000 クラスタシステム (T2K 東大) … なし
- 1.3 SR16000 システム (SMP) (Yayoi) … なし

2. ソフトウェア

- 2.1 RedHat Enterprise Linux 6.1、XTC OS (FX10) … あり

FEFS	1.3.1-29	(2012.7.27)
------	----------	-------------

- ・不良対策等を実施しました。

運用ソフトウェア (ジョブ管理システムなど)	(2012.7.27)
	(2012.8.18)

- ・ステージング機能の性能改善を実施しました。
- ・不良対策を実施しました。

言語ソフトウェア (TCSuite-LANG)	GM-1.2.1-01	(2012.7.27)
	GM-1.2.1-02	(2012.8.18)

- ・言語ソフトウェアの性能改善、機能追加を実施しました。詳細については利用支援ポータルに記載しておりますので、こちらでご確認ください。

- (1) Fortran 2003 規格仕様を追加サポートしました。詳細は、「Fortran 使用手引書」、「Fortran 文法書」、「Fortran 翻訳時メッセージ」をご覧ください。

- 共通ブロックの要素および構造体構成子成分の手続ポインタ
- 割付け代入文
- 構造体構成子名と総称名の同一名
- 多相的 (CLASS キーワード、SELECT TYPE 構文、型束縛および PASS 属性)
- 初期値式の実数型、複素数型および論理型の組込み関数
- ALLOCATE 文の STAT=指定

- (2) OpenMP の reduction 指示節が指定されたリージョンの終わりにおけるリダクション演算の演算順序をスレッド番号順に固定する機能を追加しました。詳細は、「Fortran 使用手引書」、「C 言語使用手引書」、「C++ 言語使用手引書」をご覧ください。

- コンパイルオプション (-Kordered_omp_reduction、-Knoordered_omp_reduction)

- (3) 開発支援ツール (プロファイラ、デバッガ) を更新しました (開発支援ツールを利用する場合には、お使いの PC に最新版を再インストールする必要があります)。

- (4) 言語マニュアルを更新しました (更新マニュアルについては、マニュアル更新日をご確認ください)。

- ・不良対策を実施しました。

利用支援ポータル	(2012.7.27)
----------	-------------

- ・グループ管理者向け機能を追加しました。詳細については、「グループ管理者向け利用手引書」をご覧ください。
- ・英語表記を追加しました。
- ・言語ソフトウェアのバージョンアップ情報を記載しました

- 2.2 RedHat Enterprise Linux 5 (HA8000) … なし

- 2.3 AIX 7.1 (SR16000) … なし

3. その他

3.1 FX10 スーパーコンピュータシステム正式サービス開始のお知らせ (再掲)

本誌、スーパーコンピューティングニュース (Vol.14, No.3 2012.5) でもお知らせしたとおり、2012 年 7 月 2 日 (月) 9:00 より FX10 スーパーコンピュータシステムの正式サービスを開始しました。

3.2 FX10 スーパーコンピュータシステムのバッチジョブ最大同時実行本数の変更について

正式運用開始後のバッチジョブ実行状況に鑑み、グループコースのバッチジョブ最大同時実行本数を下記の通り変更しました。これに伴い、最大投入数 (= 最大同時実行本数 × 4) も変更しました。

(変更前)

申込ノード数が 96 ノードまでは 4 本、96 ノードを超える場合は 24 ノード単位で 1 本ずつ追加する

(変更後)

申込ノード数が 12 ノードのとき 12 本、

24 ノードのとき 15 本とし、以降 24 ノード単位で 3 本ずつ追加する。

	パーソナルコース		グループコース	
	1	2	ユーザ単位	グループ単位
最大投入数	8	16	制限なし	最大同時実行本数 × 4 12 ノードの場合は 48 24 ノードの場合は 60
最大同時実行数	2	4	制限なし	申込ノード数が 12 ノードのとき 12 本 24 ノードの場合は 15 本 以降 24 ノード単位で 3 本ずつ追加される
最大ノード数 (ジョブ単位)	24	96	グループ管理者が設定していない場合は、最大ノード数 (1,440 ノード) まで利用可能	1,440 ノード

3.3 HA8000 クラスタシステムの運用変更について (再掲)

本センターは全国の大学や研究機関、「京」をネットワークで結び、利用者の多様なニーズに応える計算環境を実現するハイパフォーマンスコンピューティングインフラ (HPCI) の資源提供機関として、HA8000 クラスタシステムの計算リソースの一部を資源提供しています。HPCI への資源提供等の詳細については、本誌別記事「HPCI の開始と東京大学が提供する資源について」をご覧ください。

HPCI 資源提供に伴い、2012 年 9 月の月末処理日に HA8000 クラスタシステムの運用変更を行います。変更内容については、既にお知らせしている通りです (本センター Web ページ、スーパーコンピューティングニュース (Vol.14, No.2 2012.3))。

- ・パーソナルコースの利用ノード群の変更を行います。
パーソナルコースで、現在ご利用頂いているノード群を、TYPE-A 群 (ノード間ネットワーク性能 5GB/秒 × 双方向) から、TYPE-B (ノード間ネットワーク性能 2.5 GB/秒 × 双方向) へ変更します。
- ・ジョブクラス、ジョブクラス制限値の変更を行います (変更後のジョブクラス制限値は以下の表を参照)。
 - ・パーソナルコース 5 の最大で利用可能なノード数を 128 ノードから、64 ノードまでと変更します。
 - ・短時間キュー (short: S004, S008, S016 キュー) のサービスを終了します。

ジョブクラス制限値 (2012 年 9 月の月末処理日以降)

キュー名	最大ノード数	制限時間 (経過時間)	メモリ容量 (GB)	パ ー ソ ナ ル 1	パ ー ソ ナ ル 2	パ ー ソ ナ ル 3	パ ー ソ ナ ル 4	パ ー ソ ナ ル 5	専 用 キ ュ ー	ノ ー ド 固 定
(parallel)										
P004	4	24 時間	28	○	○	○	○	○	×	×
P008	8	〃	〃	×	○	○	○	○	×	×
P016	16	〃	〃	×	×	○	○	○	×	×
P032	32	12 時間	〃	×	×	×	○	○	×	×
P064	64	〃	〃	×	×	×	×	○	×	×
(large)										
L004	4	24 時間	112	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
L008	8	〃	〃	×	☆	☆	☆	☆	☆	☆
任意	申込数	任意	28	×	×	×	×	×	○	○
debug	4	5 分	28	○	○	○	○	○	○	○
profile	4	1 時間	28	○	○	○	○	○	○	○
avs	4	2 時間	112	○	○	○	○	○	○	○

【センターからのお願い】

FX10 スーパーコンピュータシステムのご利用方法などについてのご質問が多数寄せられております。よく寄せられる質問などについては、本センター Web ページ、FAQ に記載していますので、ご質問の際には、事前に同様の質問・回答がないかご確認ください。
また、利用支援ポータルに各種利用の手引書やマニュアルを用意しています。こちらもあわせてご確認・ご覧ください。

FX10 スーパーコンピュータシステムの利用全般については、以下の URL を参照してください。
<http://www.cc.u-tokyo.ac.jp/system/fx10/>

よく寄せられる質問・回答について (FAQ) については、以下の URL を参照してください。
<http://www.cc.u-tokyo.ac.jp/support/faq/>

SSH 公開鍵登録、富士通社製の各種「利用の手引書」、「マニュアル」の参照、ソフトウェアバージョンアップ情報などについては利用支援ポータルをご利用ください。
<https://oakleaf-www.cc.u-tokyo.ac.jp>